

日本を支える建設業界で働く人のためのフリーペーパーマガジン

架橋

[かけはし]

2021年
第25号
11月発行



新たなプロの選択

京セラの電動工具がはじまる。



オンナのホンネ

“現場女子が語る”

SIAA
ISO 22196
抗菌加工
この媒体は
高速オフセットの
「輪転抗菌印刷」を
採用しています

「女性技能者協会」代表理事に聞く (7分)

~FOR NEXT GENERATION WORKERS~ スポニチ

↑2~3ページに京セラインダストリアルツールズ「DMTHXR」特集↓

トーヨー科建取締役営業部長の森嶋順子さんは一級建築施工管理技士の資格を持ち、現場管理としても活躍している。大学2年生の息子がおり、子育てと並行して20年以上キャリアを築いてきた。この秋は千葉県市川市にある中山法華経寺(中堂)耐震改修工事に汗を流した。「日本建築仕上学会 女性ネットワークの会」運営委員でもある彼女に話を聞いた。

一級建築施工管理技士の資格を持つ
「トーヨー科建」取締役営業部長
森嶋順子さん

「日本建築仕上学会 女性ネットワークの会」副主査で活動「女性のつながり、思いや情報も共有」

現場女子ファイルVOL.24

都立高校卒業後「いろいろな仕事」を経験 技術研究所で「建設業に興味」を持ち、28歳で現在の会社へ

森嶋さんの表情が輝いた。

ヘルメットに作業着姿。現場管理として寺の耐震改修工事の先頭に立つ。元請けである清水建設の山下一人工事長らと入念に打ち合わせをし、10人の職人と精力的に補修する。

全国から100人以上の僧侶が100日間の荒行を行うことで知られる法華経寺だけに、その舞台となる大荒行堂の耐震改修工事には力が入った。

その堂では、来年2月まで荒行が続く。僧侶たちは午前2時に起床。寒水に身を清める水行を1日7回行い、堂の中で読経と写経を続ける。森嶋さんは「荒行の開始が11月からと決まっていたので、期日を守り次の工事に受け渡すことが大変でした」と振り返ったが、歴史ある堂の改修を終え、達成感を味わった。

東京都江東区出身。都立高校を卒業後は「いろいろな仕事をしました」と振り返る。「都庁の仕事で光化学スモッグの注意喚起のアナウンスをしましたし、その後は友人の紹介で技術研究所に入りました」と話す。当初はデータ処理が主な仕事だったが、仕上げ材料部門の研究を目の当たりにしたことで「そこで初めて建設業界への興味を持ちました」。

28歳で現在のトーヨー科建に入社した。「既存建物を長寿命化させ外壁をきれいにする仕事」に魅了され「出始めだった研究所時代から、つながっているのかな」と縁を感じた。

仕事にまい進する一方、私生活では男児を出産。「2年くらい子育てで家にいましたが、専業主婦にはなりきれなくて。私は家にこもる性分ではないなと気づき、内勤を経て現場に出るようになりました」と明かす。息子が野球に打ち込むようになってからは、早朝に仕事現場に行ってから野球チームに顔を出し、再び現場に戻るような多忙な日々を過ごした。「当時は作業着姿で夜勤にも行っていたので、夕方に家で作業着姿していると息子から「行かないで」と言われたこともありました」と明かした。それでも充実した毎日を送り「高校で彼が引退した時、野球ロスになったくらいです」と笑った。

業界に入り約28年となったキャリアの中では「昔は現場に女性用のトイレもなくて。コンビニも今ほど普及していなかったのので、駅などのトイレを探すことから始めました」と苦労もあった。現在は専用トイレや更衣室があることも増えた。業界での女性のさらなる進出に向け「一人より二人、二人より三人と増えれば環境もより変わってくると思います」と期待を込めた。

そして、業務と並行して「日本建築仕上学会 女性ネットワークの会」の運営委員を7年間務め、現在は副主査として活動する。約300人の個人会員がいて、建築仕上げに関連する人たちが集まる貴重な時間とあって「女性同士で話せる機会になっています」と同会の熊野康子主査たちとの交流を喜ぶ。「つながりを実感でき、思いや情報も共有できます」という女性ネットワークの会の活動が、森嶋さんの人生をさらに豊かにしている。



① 今秋は荒行で知られる中山法華経寺の耐震改修工事の先頭に立った森嶋順子さん。現場で清水建設・山下一人工事長と打ち合わせをする森嶋さん

② 森嶋順子さん(もりしま・じゅんこ) 東京都江東区出身。一級建築施工管理技士。トーヨー科建取締役営業部長。「日本建築仕上学会 女性ネットワークの会」運営委員。昨年、清水建設社長賞受賞。

私生活では男児を出産も「専業主婦で家にこもる性分ではないなと気づき」再び現場へ



女性職人さん大募集!!
職種は問いません。応募は下記まで

よろしくお願ひいたします

【架橋(かけはし)とは?】

日本の土台を支える建設業界で働く人に「誇り」を持って仕事をしてもらいたい。本紙を通して業界(職種)のことを少しでも知ってもらい、今まで知らなかった人にも認められることで自分の仕事を誇らしく思う。このフリーペーパーがそういう「架橋」になりたいという思いと、次の世代へ繋ぐ「架橋」という意味を含め創刊いたしました。

【お知らせコーナー】

【設置場所募集】フリーペーパー「架橋」の設置協力いただけるショップ、企業を募集いたします。

【モニター募集】商品テストしたい企業様、モニター(モデル)になってもいいという方を募集しています。



(読者モデル募集)「架橋」の表紙モデルになりませんか? 希望者は簡単なプロフィール、連絡先、写真を添えてメールにてご応募ください。

問い合わせ・応募先:kakehashi@sponichi.co.jp

【発行元】スポーツニッポン新聞社 【協力】榊宣成社
【求人広告のご用命】建設作業員、職人募集は「スポニチ案内」へ。
問い合わせ 東京☎03(3820)0627
大阪☎06(6346)8562

f 架橋フェイスブック始めました!
https://www.facebook.com/kakehashi.workers



求人情報はこちら!
スポニチ求人=https://kyujin.sponichi.co.jp



《来年設立70年の仮設資材メーカー&レンタル会社》

日野興業株式会社



①若さあふれるマンパワーが日野興業の力の源②谷本部長(左)と熊本チーフ③④多彩な製品ラインアップ



日野興業株式会社(本社・千葉縣市川市)は1952年に「日野屋金物店」として設立。57年に「日野興業」へと社名変更し、来年設立70年を迎える歴史ある仮設資材メーカー&レンタル会社だ。

「新しい製品、新しい現場環境をお客さまにご提案するためのビジョン」として「新仮設。」をキャッチフレーズに掲げ、コロナ禍でも業績は上向き。従業員数も400人まで増え、一丸となって働いている。

特に仮設トイレのパイオニアとして知られ「仮設トイレの創業メーカー」、「業界最大手」の看板を背負って業務に当たっている。

近年、建設業界では国交省を中心に官民一体となって職場環境の改善を促進。その一環として一定の基準をクリアした「快適トイレ」の設置を国交省直轄現場に設置しており、同社の多彩なラインアップは出色。災害対策としても重用されている。

人と人とのつながりを大切に社風は高く評価されており、営業企画部の谷本巨部長は「例えるなら『フランチャイズの八百屋』です。各事業所や営業マン一人一人が八百屋の大將

「営業マンはお客さまをよく知る八百屋の大將のイメージ」**谷本巨営業企画部長**

仮設トイレのパイオニア

多彩なラインアップ、社会貢献度も高くコロナ禍でも業績上向き

というイメージなんです。良い意味でのマンパワー。皆が八百屋さんのお客さまのことを見えていて、知っている。彼らが独自に工夫して、それを会社がバックアップするスタイルが整いつつあります」と説明した。以前は他業種を経験し、日野興業には06年に入社して16年目。今後に向け「被災地のトイレなどもまだまだ改善の余地があり、これから伸びしろしかない。もの作りを含めて期待値も高く、やることは無限にある。楽しみでしかないですね」と熱く語った。

勤続6年の営業企画課・熊本好美チーフは、日野興業入社を考える若者に向け「この会社の社会貢献度は高いと感じています。建設現場ばかり、災害現場ばかり。仮設トイレがそのような現場で役立つこと、やりがいがあることを知ってほしいですね」とアピール。日本建築仕上学会「女性ネットワークの会」等でも活動するとあって「建設業界への女性の枠が少なかった時代を経験しています。環境がないからという理由がほとんどだったが、この10年、20年で変わってきている。これからもっと環境が良くなっていくと思うので、あきらめずに挑戦してほしいです」と呼びかけた。

【会社名】日野興業株式会社
【所在地】千葉縣市川市原木3024番地
【電話番号】☎047(318)8761
【公式サイト】<https://hinokogyo.co.jp/>

《仮設足場工事を中心に幅広く事業展開を行う》

株式会社豊国



①職人の会社なので技術は命と話す山本社長。会社に業界に恩返ししたいという強い思いを持ち、経営にまい進している②成長を続ける会社の外観。従業員は社員含め400人を超える③事業は多岐にわたるため資材も様々なものが用意されている



仮設足場工事を中心に建築工事、土木工事、鉄骨工事、エクステリア事業など幅広く事業展開を行っている「株式会社豊国」(奈良県北葛城郡)。令和元年に代表取締役役に就任した山本成己氏。平成元年に足場事業から創業した現会長より引き継ぎ、従業員400人を超える会社の成長を引っ張る存在。

会社の強みを山本社長は「特別なことはしていません。当たり前のこと、例えばあいさつをする、感謝する、困っている人がいれば助けるなど当たり前のことですが意識しないと中々出来ない。意識して当たり前のことをちゃんとやろうとしてきたことが大きいと考えています」と話す。「自分たちが提供するサービスがお客様が求めるものを上回ることができれば、お客様が喜び取引も継続することができる」という原動力となる社内教育には力を入れている。資格取得などのサポート体制は万全。社員の若返りも着実に進んでいる。足場職人の平均年齢は30歳前後。「うちの特徴は建築、土木、橋梁、改修など全部

「仕事に誇りを!!」社内教育、資格取得など万全のサポート体制 地域未来牽引企業に認定

「人生の半分は働いている、その時間の充実が人生の喜びに繋がる」**山本成己代表取締役**

やります。とびでも専門しかやらないというところも多い中、ウチの職人には何でも経験してもらっています。仕事を覚えるには最高の会社だと思います」と山本社長。

経営理念「健全な企業市民を目指し 日々叡智を育み 日々実行する」を掲げ、地域未来牽引企業にも認定されている。「建設業は日本の中で今、残念ながら地位が高いとは言えない。この業界で働いている人は家族からはリスペクトされているが、社会から見るとそうではないことも多い」と山本社長は話す。社会でも認められること、建設業界に従事する人がプライドを取り戻すことの重要性についても意識している。

今後目指すのは「働いている人が喜び、誇りを持って働ける会社になりたい」と山本社長は話す。「人生の半分は働いているわけで、その時間を充実することが人生の喜びに繋がる。そこに喜びをもってもらうために全力を尽くしたい」

「職人の会社なので技術は命」と言い、会社に業界に恩返しをしたいという強い思いを持ち経営にまい進する山本社長のもと、豊国はさらなる飛躍を遂げる。

【会社名】株式会社豊国
【所在地】奈良県北葛城郡河合町池部2-7-5
【電話番号】☎0745(57)1502
【公式サイト】<http://www.houkoku.cc>